

策定 第2期 庄原市長期総合計画

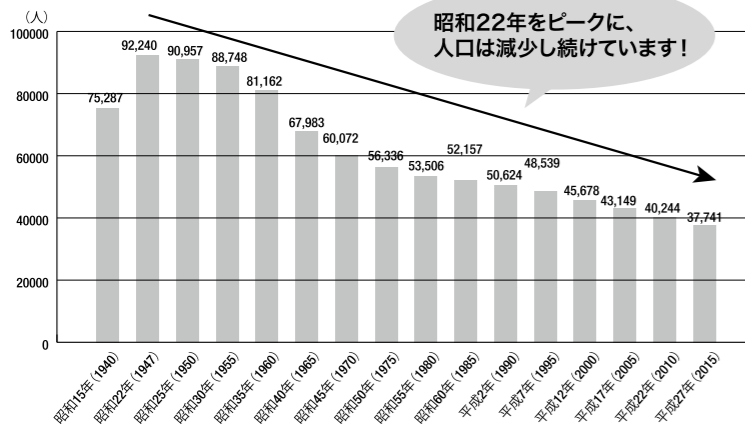
企画振興課企画調整係 ☎0824-73-1128



左/審議会の様子 右/上水委員会から木山耕三市長へ答申

《国勢調査における本市の人口推移》

※平成27年は住民基本台帳10月1日現在

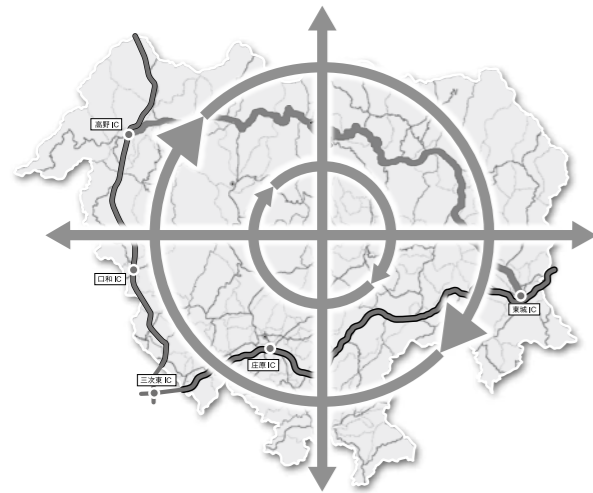


10年後の目標人口
32,700人以上

《各拠点区域の方向性》

都市機能の拠点区域	庄原地域の市街地は、本市の拠点区域であることから、都市機能を確保・集約し、公共施設の再編・整備、危険空き家への対応などに取り組みます。
都市機能の準拠点区域	東城地域の市街地を準拠点区域とし、既存の都市機能を維持しつつ、歴史ある街並みの整備などに努めます。
地域拠点区域	庄原・東城以外の支所周辺区域では、住民ニーズに応じた拠点機能の強化に取り組みます。
里山居住区域	他の集落形成区域については、自治振興センターの拠点機能強化を検討し、新たな集落形成の支援に努めます。

《域内環状道路の概念図》



らず、市民生活への不安の増大にもつながることから、本市の最重要課題として捉え、その抑制に向けた取り組みを継続・強化していく必要があります。

この計画では、最終年(平成37年)の目標人口を、市民の皆さんと行政が意識を共有しながら達成しようとする実現性のある数値として、3万2700人以上と設定しました。

長期ビジョン

長期ビジョンは、将来像を実現するための長期的な構想・方針のことです。

この計画では、4つの長期ビジョンを掲げています。

1 機能を有する拠点区域の形成

合併により誕生した本市は、

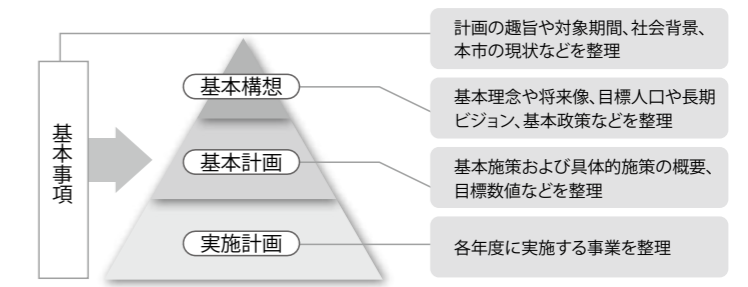
本市は、平成17年3月31日に1市6町の合併で誕生し、平成19年3月に策定した「庄原市長期総合計画」に基づき、広大な区域や本市の課題に対応した政策・施策を推進してきました。

この長期総合計画の対象期間が平成27年度をもって終了したことから、このたび、「第2期庄原市長期総合計画」を策

定しました。

この計画は、住民アンケートなどで市民の皆さんから意見を求めるとともに、学識経験者や公共的団体の代表者など25人で構成する「庄原市長期総合計画審議会」(会長・上水流通久彦 県立広島大学教授)での審議・答申を受け、本年3月議会での議決を経て策定したものです。

《計画の構成》



《基本理念と将来像》

家族への愛情 地域への愛着

基本理念 **みんなが「好き」と実感できるまちづくり**

将来像 **美しく輝く里山共生都市**
～みんなが「好き」と実感できる「しょうばら」～

- 美しく輝く: 地域づくりや暮らしをはじめ、各分野で美しく輝こうとする力強さを表現しています。
- 里山: 自然環境や多様な資源、さらには磨き・培われてきた暮らしを表現しています。
- 共生: 豊かな自然や地域の魅力、里山の暮らしに目を向け、ふるさとを守りながら発展する、「里山と共に生きる」という意思を表現しています。
- 都市: 一定の利便性や快適性が確保された未来都市を表現しています。

長期総合計画とは

長期総合計画は、市民の皆さんと行政が夢や課題を共有し、10年後の庄原市を創造するための指針となる本市の最上位に位置付く行政計画です。

基本事項・基本構想・基本計画・実施計画で構成し、対象期間は平成28年度から平成37年度までの10年間としています。

基本理念

基本理念とは、未来の庄原市

を創造・実現するにあたって最も大切にすべき考え方のことです。

時代を経ても変わらない、あなごの姿は、「家族への愛情」と「地域への愛着」に支えられたものである」という意識を念頭に、基本理念を「みんなが「好き」と実感できるまちづくり」と定めました。

将来像

将来像は、市民の皆さんと行政が創る未来の姿であり、この

計画で目指すべき目標ともなります。

住民アンケートの結果や基本理念などを踏まえて、「美しく輝く里山共生都市」みんなが「好き」と実感できる「しょうばら」と定めました。

目標人口

本市の人口は、昭和22年の9万2240人をピークに減少を続けています。人口の減少は行政効率の低下や地域産業の衰退、地域活力の減退のみならず、

2 一体感の醸成と一体的な発展

広大な区域面積を本市の優位性と捉え、一体感の醸成と一体的な発展という基本姿勢を継承しつつ、各地域が有する資源や魅力を生かしたまちづくりに取り組みます。

とりわけ、地域づくりに関しては、住民自治組織による活動

極めて広大な市域の中に各地域の市街地・集落が分散しているため、それぞれの特性に応じた拠点づくりが求められます。

このため、人口構成や都市機能の配置状況を踏まえた、機能分担とネットワークの確立に取り組みます。

3 効果的な活用で輝く広大な区域

本市には、南部の横軸として中国縦貫自動車道が、西部の縦軸として中国横断自動車道尾道松江線が整備されています。さらに、既存の国道・県道・市道を北部の横軸および東部の縦軸に位置付けることで、市内を周回する大規模な外郭環状道路が形成されます。

加えて、地域と地域を結ぶ幹線を内郭環状道路・補助幹線と捉え、重層的な道路体系への展開を図ります。

4 家族愛・地域愛・里山愛に支えられた未来

この計画では、人口減少を最重要課題としており、オール庄原の意識をもってこの課題に立ち向かわなければなりません。

子どもたちに大切にすべき意識として、家族への愛情と地域への愛着を伝えます。また、本市で暮らすという皆さんに、里山の魅力から生まれる新たな「里山愛」を感じてもらい、これら3つの愛に支えられた定住を推進します。